

水需要予測（案）について

1 概要

- 企業団では、従来、国勢調査の結果を受け、5年毎に実施される大阪府の人口推計が公表された翌年度に水需要予測を実施し、計画に反映してきた。
- 直近の水需要予測は、大阪府が平成30年8月に公表した「将来推計人口」に基づき、令和元年度に実施した後、大阪広域水道企業団「将来ビジョン」の策定及び「経営戦略 2020-2029」の改定にあたり令和4年度に実施したところ。
- 今般、令和5年12月に社人研*が新たに「日本の地域別将来推計人口」を公表したため、当該「経営戦略 2020-2029」の点検に反映できるよう水需要予測を行った。なお今回は、大阪府が独自の人口推計を公表しないため、予測に使用する人口推計は、社人研が公表した人口推計を採用した。

※ 国立社会保障・人口問題研究所

2 水需要予測に用いる各要素の実績等

- 今回の水需要予測に用いた各要素の実績等は下表1及び2のとおり。予測にあたっては、原則、直近年度である令和5年度までの実績値を用いた。
- なお、令和2年度以降の水需要の実績は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一時的な影響を受けていると考えられることから、影響があると考えられる要素については、令和元年度までの実績を基に時系列傾向分析を行い、令和5年度実績値で補正を行った。

表1 水道用水供給事業の水需要予測に用いる実績等

給水人口	社人研が令和5年12月に公表した「将来推計人口」
生活用原単位	令和元年度までの実績、令和5年度実績
業務営業用水等	〃、〃
有収率	令和5年度までの実績
負荷率	〃
市町等の自己水	各市町等への聞き取り調査

表2 工業用水道事業の水需要予測に用いる実績等

基本使用水量		令和5年度末実績
実使用水量	業種別の実使用水量	その他軽工業：令和元年度までの実績、令和5年度実績 それ以外の業種：令和5年度までの実績
	負荷率	令和5年度までの実績